



令和4年6月2日
国際局国際協力課

タイ・バンコク都及びベトナム・ダナン市と連携した 脱炭素社会実現への取組がスタート！

～ゼロカーボン達成に向けた公民連携による都市間協力事業を開始します～

この度、横浜市が市内事業者等と共に提案した、海外との都市間協力事業（※）2件が環境省から採択されました。タイ国バンコク都及びベトナム国ダナン市における脱炭素社会の実現に向けた取組を公民連携で進め、海外インフラビジネスを創出します。

- 「バンコク気候変動マスタープランに基づくカーボンニュートラル実現
～公民連携プラットフォームによる緩和政策・プロジェクトの推進～」
- 「横浜市とダナン市の都市間連携による炭素技術事業開発を通じた脱炭素
社会形成支援事業」

※環境省補助事業「令和4年度脱炭素社会実現のための都市間連携事業」

(経緯)

横浜市は平成25年にバンコク都及びダナン市と環境に配慮した持続可能な都市づくりに関する覚書を締結し、環境省や独立行政法人国際協力機構（JICA）等と連携しながら、両都市の気候変動対策のプラン策定などに協力してきました。

こうした中、昨年度両都市は相次いで「ゼロカーボン宣言」を行い、2050年までの脱炭素社会の実現を目指して、横浜市と連携して取り組んでいくことを表明しました。

今回採択された2件の事業を通じて、公民連携で現地のゼロカーボンに向けた取組を推進していきます。

1 バンコク気候変動マスタープランに基づくカーボンニュートラル実現 ～公民連携プラットフォームによる緩和政策・プロジェクトの推進～

バンコク都におけるエネルギーセクターアクションプランの策定や、公民連携プラットフォームの強化・活用を図ることで、省エネルギー・再エネルギー関連事業を創出します。

- (1) 実施主体：一般社団法人海外環境協力センター（OECC）
- (2) 共同実施者：一般社団法人 YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE (YUSA) （※）、
(株)ファインテック（※）、東京センチュリー(株)、横浜市

2 横浜市とダナン市の都市間連携による炭素技術事業開発を通じた脱炭素社会形成 支援事業

ダナン市の工業団地等で、太陽光発電や輻射式冷暖房システムなどの導入を推進し、脱炭素化を推進します。

- (1) 実施主体：公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）
- (2) 共同実施者：(株)オオスミ（※）、(株)マクニカ（※）、ムラタ計測器サービス(株)
(※)、一般社団法人 YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE (YUSA) （※）、
横浜市

※：市内事業者

裏面あり

【参考】バンコク都及びダナン市におけるこれまでのY-PORT事業の取組

■Y-PORT事業における取組

市内企業の海外展開支援と新興国の都市課題解決を目的として、公民連携による国際技術協力をを行っています。新興国の政策策定への協力から、市内企業の技術を活用した事業の創出まで一貫して取り組んでいます。



(1) バンコク都における実績

平成25年から継続して独立行政法人国際協力機構（JICA）とともに気候変動対策のマスター プランの策定や改定に協力しています。こうした取組から、市内企業による屋根置き太陽光発電導入による再エネ事業の実施及びこれに伴う温室効果ガスの削減などにつながっています。



(2) ダナン市における実績

横浜市の都市づくりの知見を活かし、都市計画の策定等に協力してきました。こうした取組から、市内企業による省エネ対策のコンサルティングサービスの実施や、上水道施設の省エネ化のため高効率ポンプを導入する事業の創出などにつながっています。



お問合せ先

国際局国際協力課国際技術協力担当課長 横内 宣明 Tel 045-671-4712